
開講科目名：金融論研究（A） （2単位）
開設年次：1年 2年
開設学部：会計学研究科博士前期課程 会計学研究科博士前期課程会計学専攻
担当者：橋本 理博

《授業の概要》

【授業の目標】

この授業では、金融の制度的枠組みを学ぶ。これを通じて、金融制度に関する諸問題を分析するのに必要な研究能力の基礎を育むことを到達目標とする。

【授業の概要】

この授業では、まずマネーの基礎概念や金融取引の構造を学ぶ。次いで、銀行システムの意義を確認する。さらに、短期金融市場と日銀当預の役割を整理したうえで、金融政策の目標、課題、波及経路、そして量的緩和政策の内容について理解する。また、ブル?デンス政策や金融規制の在り方についても理解を深める。

【評価方法】

定期試験レポート（70%）、授業への貢献度（30%）により評価する。

【授業計画】

第1回：イントロダクション
第2回：マネーの基本概念
第3回：金融取引の構造
第4回：金融機関の役割
第5回：銀行システム（1）決済機構
第6回：銀行システム（2）信用創造のメカニズム
第7回：銀行システム（3）リスク構造
第8回：短期金融市場と日銀当預
第9回：金融政策（1）目標と課題
第10回：金融政策（2）波及経路
第11回：金融政策（3）量的緩和政策
第12回：ブル?デンス政策
第13回：金融規制の在り方
第14回：金融デリバティブの進展
第15回：全体の総括

定期試験を実施する。

《テキスト》

指定しない

《参考書》

池尾和人（2010）『現代の金融入門（新版）』筑摩書房。
家森信善（2018）『金融論』中央経済社。